2020年3月19日

**印西市環境基本計画（案）を巡る議論**

1. ２月の会議での各委員の意見（要約）

**＜自然環境＞**

　印西市の強みであり誇りでもある自然の保護・保全を最重要課題の一つとして位置付ける。

1. グリーンインフラの発想を取り入れる。
2. 農業環境（里山生態系）の重要性認識する
3. ＳＤＧｓとの関係考慮
4. ハザードマップと重ねて保全地域を決める
5. 優良宅地開発、住宅建設等に企業等誘導する
6. ゴルフ場周辺の谷津保全（ゴルフ場利用税の活用も要検討）
7. ボランティア活動のポイント制導入
8. 外来種対策（特定外来生物、アメリカザリガニ）
9. バスやブルーギルのリリース禁止を条例化する。
10. ペットは最後まで飼う。飼育中のペット放流の禁止。
11. 大型鳥類（白鳥等）を守る
12. P.M.２．５の測定。トレンドの把握。
13. 光化学スモッグの原因と対策

**＜生活環境＞**

1. 食品ロス削減推進法（R元年５月交付）に沿って食品ロス削減を推進
2. 海洋プラスチック（ﾏｲｸﾛﾌﾟﾗｽﾃｨｯｸ）問題
3. 合併浄化槽の普及促進
4. 河川、水路、池への排水制限の実施
5. 高齢者が安心して暮らせる街；ふれあいバスの拡充、自動運転バス、介護施設の充実
6. 師戸川の水質改善

**＜都市環境＞**

1. 土地利用や景観についての印西市のビジョンを明確にする。
2. 不法投棄、ポイ捨て対策に関し、市民と連携した監視体制の充実を図る。（具体策？）監視カメラの増設
3. 公園の維持管理活動に地域住民を巻き込む施策の検討
4. 公園の防災基地化はどの程度出来ているか
5. 無形民俗文化財等継承していく手立ての検討（広く募集する、長男縛り等
6. 公立の保育園、小学校、中学校、高校に手動の井戸設置

非常時の井戸増設。（現状５か所の倍は必要）

1. 現在の緑地、自然を保全しこれ以上減らさない。
2. イノシシと人が共生出来る街

**＜地球環境＞**

1. 国が近く気候非常事態宣言を行う。自治体ではすでに１０の自治体が宣言している。印西市も宣言してはどうか。
2. 2030年までの印西市のＣＯ2削減計画（家庭を含めた目標）を作る

**＜人づくり＞**

1. 環境学習の推進
2. 環境保全のための市民参加（体験）の仕組み作り
3. 中根、浦部の神楽の時間案内に工夫が必要

**＜その他＞**

1. 現状分析に基づき、基本計画の調査項目追加が必要

土地利用の変化の把握（数値、地図）

とりわけ谷津の消滅、草地の消失、台地の宅地化

水辺（湿地、池）の減少

1. 里山保全の予算拡充

森林環境税、ゴルフプレイ税、企業からの寄付

1. 環境基本条例の実効システムの確保

都市マスタープランとの整合性、印西市景観条例との整合性

1. 災害に強い街づくり

まずは近所付き合い⇒まずは挨拶から

以　上